

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104738
法人名	有限会社 ころ
事業所名	グループホーム 里山
所在地	松山市鷹子町乙402-9
自己評価作成日	平成21年10月21日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

理念以外に社訓があり、毎日読み上げ実践している。  
 経営者がふれあい箱を設置し、職員は意見・要望を書き入れ、内容によっては会議を開き、話し合い、ケアや日常業務に反映させている。  
 常に理念や運営指針を頭に置き、ご利用者に満足して頂ける様な施設作りを心掛けている。  
 ご利用者の希望に合わせた生活、その人らしい暮らしを1人1人考え、実行するようにしている。  
 明るく、穏やかな日々の暮らしを提供出来るように心掛けている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

近くの公園で行われる地区の盆踊り時には、事業所で「ヨーヨー釣りコーナー」を出店され、利用者は子どもたちとのふれ合いを喜ばれた。事業所の敬老会は、地域の独居生活をしている高齢者の方を招待してビンゴゲームをされたり、紅白饅頭を食べながら、ともに楽しい時間を過ごされた。「地域の行事への参加を通じて事業所や認知症についての理解が深まってきている」と感じておられた。  
 ご自宅で使っていたお茶碗で食事をされている方もある。配膳や下膳をされている方もある。利用者の希望するメニューをお聞きて職員が献立を作っておられる。野菜は事業所の畑で採れたものも使用して、おやつも、出来るかぎり、手作りに心がけておられる。おもちゃ好きな方には、職員が付き添って様子を見ながら食べられるように支援されている。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. <b>利用者の1/3くらいが</b> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 里山

(ユニット名) 虹

記入者(管理者)  
氏名 竹本 亜矢

評価完了日 平成21年10月21日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域密着型の理念を追加し、玄関先に掲示している。また、カードックスに記し、毎日の申し送り時、全員で読み上げ、実践出来るよう取り組んでいる。 (外部評価) 安らぎのある暮らしを「地域と共に支えます」と、もとの理念に追加して地域との交流に積極的に取り組んでおられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 盆踊りや秋祭り運動会に参加し、地域との交流を図っている。又、散歩時に出会った近所の方々に積極的に挨拶したり、談話をしたりしている。 (外部評価) 近くの公園で行われる地区の盆踊り時には、事業所で「ヨーヨー釣りコーナー」を出店され、利用者は子どもたちとのふれ合いを喜ばれた。事業所の敬老会は、地域の独居生活をしている高齢者の方を招待してピンゴゲームをされたり、紅白饅頭を食べながら、ともに楽しい時間を過ごされた。「地域の行事への参加を通じて事業所や認知症についての理解が深まってきている」と感じておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 来所や、電話での相談に応じている。又、まもるくんの家の登録を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	(外部評価のみ)
			<p>積極的に参加を呼びかけ、出席者との意見交換を行 い、サービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	(自己評価)	(外部評価のみ)
			<p>市町村で開催される勉強会や意見交換会に参加させ て頂いている。運営推進会議に担当者が参加されないので、相談事があれば電話で相談にのって頂いている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	(外部評価のみ)
			<p>身体拘束しないケアに取り組んでいる。 また、日中、玄関・門扉とも鍵はかけず、玄関ホール のセンサーで利用者や訪問者の出入りに気付くように している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>生活保護を受給されている利用者の生活について市の 担当者と相談しながら支援されている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>入居時には、ご家族にも「身体拘束はしない」ことを 伝えておられる。調査訪問時、玄関は施錠されていな かった。又、裏口は鈴を付けて、出入りが分かるよう にされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	虐待防止について職員間で情報を共有し、理解浸透し、防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	職員は十分に学んでいないが、管理者・ケアマネジャーは学び得ている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	契約時には管理者が十分な時間を取って説明し、承諾して頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	職員は利用者の方へ耳を傾け、意見・不満などをお聞きし、ミーティングなどで話し合い、日々のケア活動に反映している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月一回のスタッフミーティングや個々の面談を通じて意見や要望を聞き、運営に反映させている。	
			(外部評価)	
			職員それぞれに、担当の係があり、責任を持って業務に取り組まれている。	さらに今後も、職員の研修を重ね、個々のスキルアップからさらなる事業所のケアの質向上につなげていけることが期待される。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			管理者と個人面談を行って、仕事に対する不安やストレスを少なくするため、積極的に相談に乗っている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修などには積極的に参加し、参加したスタッフはそれらを他のスタッフに伝えている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			他事業者での勉強会や研修会に参加し、情報のネットワークを作っている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居するまでに分からない事や、入居にあたり不安な事など全てお聞きし、誠意を持って対応している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所申し込みの際や見学に訪ねられた時などに詳しく話を聞き、相談に乗ったり、親身に対応している。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談を受けた時に、ご本人やご家族の不安や思いを汲み取り、必要としている支援方法や改善に向けたプランを提案している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員と利用者が一緒に行き、家事や調理を手伝ってもらったり、知識や経験を生かした方法を教えてもらっている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族の方も参加出来る行事を計画し、関係作りに努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>訪問者があれば、ゆっくりお話出来る場所作りをしている。 また、いつでも気軽に面会が出来る様な雰囲気と声かけを行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>お友達が訪ねて来られ居間でおしゃべりされたり、知人宅に遊びに行かれる際にも職員が同行されている。お墓参りにご家族と一緒にいられた方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食事やおやつ時は職員も一緒に過ごし、共通の話題を通して利用者同士が関わる時間を作っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 外で出会った時には、様子を伺ったりして、お付き合いを継続している。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、希望や要望の把握に努めている。 知り得た情報は、職員間で共有している。	
			(外部評価) 毎日の申し送り事項に「1歩でも歩きたい」「トイレは自分で歩きたい」というような、ご本人の希望や要望を記入されており。全職員で共有して支援できるよう努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人やご家族にお聞きし、また利用前の施設や病院におられた方は、関係者から情報提供してもらっている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ご利用者1人1人の生活パターンを把握し、対応・対処している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族から意見や要望を聞き、職員の気付きも取り入れ、介護計画に生かすようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人の希望を担当職員が聞き取り、又、運営推進会議や行事時等にご家族が事業所来られる際に要望等をお聞きして、介護計画に反映されている。介護計画に沿って援助計画を作成し、チェック表で計画内容を点検され、見直しされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別にファイルを用意し、食事摂取量・水分量・排泄・入浴などの心身の状況や、毎日の暮らしの様子、本人の言葉などを記録し、また、日中・夜間帯に合った事を申し送って情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々のニーズに対し、それぞれの無いように応じ、利用者さんが満足されるよう、個別性を中心とした柔軟な対応を心がけている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>消防機関と協力しての避難訓練や、個別マッサージ、定期的な美容、行事の際には地域にボランティアを呼びかけている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	<p>ご本人、ご家族の同意の下、協力医療機関がかかりつ け医となっている。また、希望する医療機関による受 診も出来るよう支援している。</p>	
			(外部評価)		
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	<p>看護職員が常に利用者の状態を把握し、体調変化の際 には相談や助言が出来、適切な対応が出来ている。</p>	
			(外部評価)		
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	<p>入院中も家族や医師と情報交換しながら、ご本人の状 態を把握し、回復状況や退院支援に結び付けている。</p>	
			(外部評価)		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>24時間対応のかかりつけ医療機関を利用する事によ って、安心した体制を話し合っている。急変時には 適切に対応出来るよう連携をとっている。</p>	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			急変時、事故発生時のマニュアルを作成している。また応急処置の講習も消防署の協力を得て、行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			消防署の協力を得て、防火・避難訓練を実施している。	
			(外部評価)	
			避難訓練時、夜間を想定した訓練や通報訓練を実際にされた。いざという時には、隣接のアパートの住人が駆けつけてくれるようになっている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			ご利用者の居室に入る時には声掛けをしたり、介護記録には個人名を入れないように注意している。	
			(外部評価)	
職員は、利用者の居室に入る際にはご本人に「入ってもいいですか」と声を掛けてから入室されていた。利用者に対する言葉かけは、声のトーンにも気を付けておられ、穏やかに話しかけている様子がうかがえた。				
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			ご利用者の思いや希望を汲み取るような声の掛け方をしている。 コミュニケーションの取りづらい方には、身振り手振りなどから、気持ちや思いを汲み取っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	起床時間や食事時間は、ご本人の体調などにも合わせ、お1人々のペースで支援している。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	希望があれば馴染みの美容院に行ったり、行けない方にはボランティアの方に来てもらっている。 外出時はご本人のお気に入りの装いで出かけている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	個人の能力に合わせて、調理や配膳など、役割分担して行っている。
			(外部評価)	
			ご自宅で使っていたお茶碗で食事をされている方もある。配膳や下膳をされている方もある。利用者の希望するメニューをお聞きして職員が献立を作っておられる。野菜は事業所の畑で採れたものも使用して、おやつも、出来るかぎり、手作りに心がけておられる。おもちが好きな方には、職員が付き添って様子を見ながら食べられるように支援されている。	
		施設長は、利用者がもっと食事作りにかかわれるよう支援していきたいと考えておられた。煮物等、利用者に教えてもらいながら調理する等、利用者がお好きなものが食べられるような支援に努めたいと話しておられた。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	個人ファイルに食事量・水分量を記録し、把握に努めている。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、程度に応じて介助を行っている。 夕食後は義歯を外してもらい、週1回入歯洗浄剤を行っている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)  時間を決めてトイレ誘導を行い、排泄の自立を目指している。  (外部評価)  利用者の排泄パターンに沿って、トイレに誘導されている。職員は、利用者への声かけのタイミングにも気を付けておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)  食事バランスに気をつけたり、適度な運動をしてもらっている。 3日以上排便が無い場合は、下剤を使用しているが、使用量は個々の状態に合わせている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)  気持ち良く入浴して頂けるよう、希望やタイミング、その人に合わせた声掛けを行っている。また、冬場は足浴も行っている。  (外部評価)  車椅子を利用されている方も浴槽で温まることのできるような浴槽を整備されており、利用されている方もある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)  ご利用者お一人々に合った休憩や睡眠がとれるよう、配慮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) お薬表を個別ファイルに綴じて、いつでも見れるようにしている。 服薬時は、名前を確認しながら手渡し、服用してもらっている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 散歩に出かけたり、希望時に外出したり、洗濯物畳み、塗絵、買い物、料理など、趣味や得意分野で力を生かしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 日常的な散歩や、買い物等の外出を支援している。また、花見・虫見学・動物園・外食等を計画し、ご家族に声掛けして、外出の機会を作っている。	
			(外部評価) 利用者と一緒に買い物に出かけたり、天気の良い日には、おにぎりを持って事業所前にある運動公園に出かけ、外での食事を楽しまれている。ご家族参加で地域包括支援センターよりバスを借りて、レストランでの外食やお買い物等に出かけられたこともある。近所の散歩等も出かけておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 週2回の買い物の日には、欲しい物をお聞きし、職員が買って来たり、一緒に買いに行くなど支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望に応じ、ご家族の方に電話出来る雰囲気作りをしている。 手紙は、職員が預かり、投函している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 花を生けたり、壁には行事毎の写真・習字、ご利用者の作品を飾ったりして工夫している。また、リビングには畳みの間もあり、ゆっくりくつろぐ事が出来るようにしている。	
			(外部評価) 玄関には季節の花が生けられていた。壁には行事の写真(レストランでの食事風景、花見等)が飾られていた。新聞を読まれている方、畳の間で洗濯物をたたまれている利用者も見られた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関外に長椅子、玄関の空間には椅子とテーブル、リビングにはソファを置き、ご利用者同士が会話を楽しまれたり、思い思いに過ごしてもらえるよう工夫している。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時には、使い慣れた家具や、お化粧品道具などを持ってきて頂き、なるべく違和感の無いよう、安心して過ごしてもらえるように心掛けている	
			(外部評価) テレビや馴染みの家具等を持ち込まれている方もある。千代紙を張って箱作りされたり、お孫さんの書を張られている利用者も見受けられた。居室の入り口には利用者の写真が飾られ、自分の居室が分かるように配慮されていた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下・階段・浴室・洗面所には手すりを付けてあり、安全に移動出来る様になっている。昇降浴を設置して、介護度の高い方にも入浴を楽しんでもらえるようにしている。ご利用者の居室は、1人1人の居室が分かる様に居室入口に、名前と写真を掲げて、戸惑いを減らしている。	
			(外部評価)	